

花火大会に向けて地元で草刈り

第14回 酒匂川草刈り

平成28年7月23日(土) 酒匂川

主催：富士見地区自治会連合会



草刈りの日は毎年、花火大会の一週間前の土曜(雨天の場合は日曜)と決まっている。今年はいくもりで涼しく、しかも前日までの雨で地面がやわらかいので草が抜けやすいという、草刈りにとっては最高のコンディションとなった。



対策委員長の穂谷野勝さん。「草刈りは準備が8割。刈払機の刃は前日に全て取り替え刈りやすく。また、操作する全員が『取扱作業』の安全衛生教育を受講し、保険にも入り安全管理を徹底しています。」



参加者は富士見地区内(南鴨宮1区~5区自治会)で回覧板をまわして呼びかけをし、役員を中心に有志が集まっている。参加人数が多いので本部には自治会ごとに別れた受付があり、名簿に出欠をチェックしてもらう。草刈りが終わるとお礼としてゴミ袋が配られるという、とことん「美化」に力を入れた自治会だ。



汗だくで作業するみなさん。本人たちは近いので花火大会は家から見る方も多らしい(笑)



小田原市の夏の風物詩「小田原酒匂川花火大会」の前に酒匂川の土手をきれいにしたいと、地元の富士見地区自治会連合会が市へ要請し、14年前から毎年続けている草刈り。

まずは朝7時から25人が先行して刈払機(草刈機)を使い、小田原大橋を挟んで下流側から、人の手では無理な背丈よりも高い草を刈っていく。

その他の参加者は9時からの開会式に合わせて集まる。全員でなんと約150人。「足元よいか!」「ヨシ!」「今日も1日安全作業で頑張ろう!」防災リーダーの元気な掛け声が響いた。

みなさん慣れた様子で、刈り終わった草を箒や熊手などを手にして土手から落とす、刈り忘れ部分を抜く、ゴミを拾うなど作業を進める。その間に刈払機部隊は今度は上流の草を刈っていく。さすが毎年やっているだけあって各自、自分の役割をどんどんこなしていく。

10時にはあっという間に約10メートル×1キロメートルの広い範囲が、すっきりときれいになった。

来年の花火大会では、花火と一緒に対岸の土手のきれいさもチェックしてみてくださいね。



身近な未来がすぐそばに... 文化堂印刷の3Dプリンター稼働中!

3D DIGITAL SOLUTION BY BUNKADO www.bunkado.jp

3Dデータの制作から3Dプリンター出力まで!

文化堂印刷株式会社 〒250-0002 小田原市寿町1丁目10番20号 TEL:0465-34-9206(代)

野村税務会計事務所 野村アカデミー(学習塾)

野村 孝一

- ・税理士
- ・行政書士
- ・建築士
- ・成年後見
- ・不動産コンサルティングマスター

〒250-0874
小田原市鴨宮 342-5 勝素ビル 2 階
☎0465-47-2071 (鴨宮駅徒歩 8 分巡礼街道沿)
<http://www.nomura-tax.jp>